

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年10月28日

【評価実施概要】

事業所番号	0170100861		
法人名	有限会社 ラ・ヴィ		
事業所名	グループホーム ソレイユ		
所在地	札幌市中央区南7条西1丁目1番1号 (電話) 011-551-1400		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成21年10月22日	評価確定日	平成21年11月9日

【情報提供票より】 (21年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 3 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	21 人	常勤 21人, 非常勤0人, 常勤換算	18.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	5階建ての 2~4 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	61,000~65,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費 25,000 円 暖房費(11~3月) 10,000円
敷金	有 (90,000円) ・ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 () 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	370 円	昼食 530 円
	夕食	500 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,500 円		

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	27 名	男性 11 名	女性 16 名
要介護1	2 名	要介護2	4 名
要介護3	11 名	要介護4	7 名
要介護5	3 名	要支援2	0 名
年齢	平均 81.8 歳	最低 56 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	石山通内科クリニック、南札幌病院、札幌外科記念病院、ドックア歯科矯正歯科クリニック
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは医療と介護の連携強化に努めており、利用者や家族から信頼と感謝の言葉をいただいています。地域の方々との交流も年々深まり、敬老会での子供たちの訪問は、利用者にとって大きな喜びとなっています。日常生活動作の軽度者が重度者のお世話をし、ホーム全体の連帯感に繋がる光景は、理念の「家族になろう」を超えて「家族」になっている「グループホーム ソレイユ」です。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善項目の外部研修への参加拡大と、研修後の内容伝達は改善が見られました。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員で「自己評価表作成週間」に臨み、振り返りの中で新たな気づきや改善点が見出され、ホームの運営に繋がっています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	定期的に運営推進会議を開催し、メンバーの方々にレクリエーションや防災訓練に参加をいただいたり、外部評価の結果報告や日々の活動で表出した課題を話し合い、サービスの質の向上に活かしています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	運営推進会議や家族会、電話、家族来訪時、さらに苦情ボックスの設置や内・外の苦情窓口を案内するなど、意見や要望の集約に努めています。課題は、運営に反映させています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会の役員を務め、町内活動に積極的に参加し交流を深めています。ホームの行事(祭、敬老会)や、サロン(多目的室)では町内の方々の参加があり、楽しい語らいがあります。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームは利用者が地域社会の中で安心して自分らしく暮らし続けるための拠り所となる意義を含んだ理念を「家族になろう」の言葉で表しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、ホーム内に理念を掲示し、朝礼、ミーティング、研修などで、ケアサービスが理念に沿って実践されているかを常に確認しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の役員を務め、町内活動には積極的に参加し交流を深めています。敬老の日には、町内の子供たちからプレゼントが贈られ、お返しにお菓子を用意するなど、ほほえましい一時を過ごしています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を実施する意義を理解し「自己評価表作成週間」を設け、職員全員で日頃のケアサービスのあり方を見直しました。外部評価の結果も踏まえ、具体的な改善に向けて検討が行われ、評価は効果的に活用されています。		

札幌市中央区 グループホーム ソレイユ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族、行政、地域の方々を含めた運営推進会議を定期的開催しています。レクリエーションや防災訓練などに参加をいただき、外部評価の結果報告や日々の活動で表出した課題を話し合い、サービスの質の向上に繋がっています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政の担当者とは運営上で、疑問や相談事が発生した場合、助言や情報を提供いただき、サービスの質の向上に繋がっています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の暮らしぶりは、毎月発行の「ソレイユ通信」で報告し、一人ひとりの近況報告や医療内容も伝えています。その際に、金銭出納や行事毎の写真も同封しています。家族来訪時や電話で、利用者の心身の状態や、職員の異動を改めて伝えています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や家族会、家族来訪時や電話、苦情ボックスの設置、さらに内外の苦情窓口を案内するなど、意見や要望の集約に努めています。課題が生じた場合は、職員全員で具体策が話し合われ、運営に反映させています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間の異動においては、レクリエーションや外出行事が合同で行なわれ、職員と利用者は馴染みの関係にあり混乱は生じません。異動や離職の際には、利用者や家族に挨拶をしたり、引き継ぎ期間を設けるなど、利用者の不安を取り除く配慮がされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の質の向上に向けて、実務訓練は基より毎月の内部研修や、段階に応じた外部研修の情報を提供し、研修会参加後は、内容を内部研修で伝達しています。運営者は、積極的に技術習得に励む職員の心意気に応え、研修費はホーム負担としています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	社会福祉協議会への参加や市の管理者会議では、役員(区の代表)を務め、他のホームとは頻りに情報交換や地域密着型サービスに向けての意見交換がされています。管理者会議から広がったスタッフ研修会では、ホームの事例を発表するなど、様々な視点から介護のあり方を習得する機会を確保しています。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者と家族に面談し、基本情報シートで生活歴や意見・要望を把握し、スムーズに利用開始ができる体制が図られています。入院先からの利用の場合は、馴染みの看護師が付き添い、不安を和らげています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と職員は、レクリエーションや食事・掃除の作業などを通し共通の話題作り心掛けています。調理方法や生活の知恵、昔の出来事を教えていただき、職員が感動を受けている場面もあります。お互いに感謝や労いの言葉を掛け合い、家族としての絆を深めています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の思いや意向は、これまでの生活歴や言動、表情から把握しています。伝えることが困難な利用者からは目の動き、仕草などから推し量り、利用者の心に沿った対応を心掛けています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の意向、要望を集約し、医療関係者、介護支援専門員の助言を参考に、職員全員で利用者の課題に沿った介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用開始時は暫定プランを作成し、日々の記録や関係者の気づきを踏まえ、心身の状態が安定した後、3ヵ月毎の見直しを行なっています。状態変化時には、その都度関係者と話し合い適切な介護計画を作成しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の要望に沿い、通院や入院時の同行、訪問理美容やボランティアの受け入れ、車椅子対応車での外出支援をしています。サロンを併設の有料老人ホームや、地域の方々との交流の場として提供しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週1回の訪問歯科や、24時間体制の協力医療機関により、日常の健康管理と医療処置（インシュリン自己注射、ストマ、バルーンカテーテル、胃ろう、在宅酸素）も施され、利用者や家族の安心に繋がっています。利用前のかかりつけ医との連携も図っています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期の対応については、ホームとしての指針を書面と口頭で説明しています。利用者の状態に応じ、関係者と随時話し合いを重ね、緊急時に備え、救急マニュアルを常に確認し、万全の態勢を図っています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員採用時には秘密保持の誓約書に同意し、日常業務に於いてもトイレ誘導時や名前呼び方などの言葉かけや、利用者が触れて欲しくない部分にも十分配慮しています。利用者の介護記録や情報は適切に管理されています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとして規則正しい生活が送れる一日の流れはありますが、利用者の心身の状態に合わせ、起床、レクリエーション、趣味活動、食事、就寝など、一日の過ごし方を見守る支援が図られています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の得意とする分野で、食事の一連の作業(献立、買出し、調理、味見、食事、片付け)を職員と一緒にしない、会話を楽しみながら、和やかな食事風景が繰り広げられています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	アロマセラピー効果のある入浴法で、週2回以上の入浴日を設けていますが、利用者の状態により意向を尊重し、さらに言葉かけや、一緒に入浴をするなどの支援をしています。全面的な介助の方にも、入浴を楽しめる工夫を図り、清潔保持に努めています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴から、得意分野、趣味、職業を把握し、家事、栄養面の助言、講義、経済論、行事の企画参加、囲碁、編物などで、充実感や満足感に繋げています。外出行事や誕生会、レクリエーション(ダンス、習字、抹茶の会)は、大きな楽しみごとになっています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの希望に沿い、買物、喫茶店での気分転換、公園散歩などで外気浴を楽しんでいます。さらに散歩表で外出度をチェックし、介護度の高い利用者には、リクライニング付きの車椅子を使用し、五感刺激に繋がる支援を行なっています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は、施錠による弊害を十分認識していますが、交通量の多い立地条件であり、利用者、家族の要望により施錠をしています。その旨を玄関に張り紙をし、外部の方々に理解をいただいています。外出を希望する利用者は、職員の見守りの下、自由に外出しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導の下、年2回、災害時のマニュアルに沿って、昼夜想定避難訓練を家族や近所の方々にも協力いただいて実施しています。研修会や会議で、常に安全対策の確認に努めています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食事形態に合わせ、きざみ、とろみ、特別食などの支援をしています。毎食、食事摂取量や水分量をチェック表に記入し、職員や併設クリニックの看護師の共有とし、不足分を補う対応をしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、徘徊症状を和らげる回廊式フロアや、利用者が認識しやすいように、各ユニットが落ち着きのある色調で統一されています。移動の支障になるため、調度品は置いていませんが、サロンには、上質な調度品が配置され、利用者はティータイムを楽しんでいます。季節の花やレクリエーションでの作品が居間に彩りを添えています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が使い慣れた家具や調度品、仏壇、神棚、趣味の物が配置され、安らぎある居室になっています。		

※ は、重点項目。